



プロフェッショナリズム

レー・トゥアン・ウエン

「プロフェッショナリズム」という言葉は、ある職業に求められる能力や技術、あるいは特別な職業に就いた人について用いられる。ベトナム語ではchuyên nghiệp（ある特定の職業に就く）と訳され、英語に則った用語である。

21世紀のグローバル経済下における第3次産業の文脈においてプロフェッショナリズムは、献身的かつ倫理的な態度、期日通りの納品、透明性のある経営、きちんと構築され効率的なコミュニケーションなどを伴った、職場や行動規範に対する姿勢をも指し示している。こうしたいわゆるプロ意識の高い言動は、国家がグローバル経済のシステムに組み込まれていくにつれ、ますます広く望まれるようになってきた。ここで定義から欠けているのは、情熱（そして時には、一生をその仕事に捧げるということ）だ。美術業界において、それなしで耐え抜くことは困難であるゆえ、情熱は先んじて必要とされる。とはいえ、情熱は、先述したようにプロとしての質というかたちで示されるだけでなく、熱心に耳を傾けたり、時間を割いたり、資質を共有したりすることで表されることもある。文脈上の差異はけっして見過ごしてはならず、文化も常に翻訳可能ではない。それゆえ、美術にまつわるプロフェッショナリズムも、どういう環境下であるかによって大きく異なっているのだろう。



ニャサン（ハノイ）に関わる若者たちが、非公式に集まっている様子。こうした場でさまざまなプログラムが形づくられる。

Courtesy : レー・トゥアン・ウエン